

単位数	2 単位	副教材等	プリント・新聞等
学年・学級	第3 学年ABCDEF組 選択		
教科書	最新 政治・経済 実教出版		

1 学習の到達目標

1. 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深化させる。
2. 現代の政治、経済、国際関係に関する興味・関心を引き出し、その客観的な理解をはかる。
3. 現代の政治・経済に関する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養わせる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容・学習活動	評価方法
第1 学期	4	第2編 現代の経済	1. 資本主義経済の成立と発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な経済の仕組みを理解させるとともに、日本経済の現状やその課題、国際経済の動向などを考察させる。</li> <li>資本主義や社会主義という経済体制の特質を理解させ、その変容を概観する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への参加の様子</li> <li>授業プリント</li> <li>小テスト</li> </ul>
	5	第1章 経済社会の変容	2. 現代の資本主義経済		
	6	第2章 現代経済のしくみ	1. 経済主体と市場の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場のはたらきや国民所得、景気変動など経済の基本的事柄に対する理解を深化させる。</li> <li>バブル崩壊と金融、財政の課題などを理解させ、租税の意義も考えさせる。</li> <li>市場機構、国民所得、景気変動など経済原論的内容に、具体的な状況を補足していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への参加の様子</li> <li>授業レポート</li> <li>授業プリント</li> <li>学期末考査</li> </ul>
	7		2. 企業の役割 3. 国民所得 4. 経済成長と国民の福祉 5. 金融の役割 6. 日本銀行の役割 7. 財政の役割と租税 8. 日本の財政の課題  期末考査		
第2 学期	9	第3章 現代の日本経済と福祉の向上	1. 戦後復興から高度経済成長へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>バブルとその崩壊後の不況、という現状に至る日本経済の流れを追い、経済成長や景気変動、金融・財政政策という理論的既習事項を現実の歴史の中で具体的に把握させる。</li> <li>公害や労働関係、社会保障といった日本経済が直面する課題について理解し、今後の展望について考察させる。</li> <li>地理歴史科の日本史と関連させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への参加の様子</li> <li>授業プリント</li> <li>小テスト</li> </ul>
	10		2. 安定成長からバブル経済へ 3. 転機にたつ日本経済 4. 中小企業と農業 5. 消費者問題 6. 公害防止と環境保全 7. 労働問題と労働者の権利 8. こんにちの労働問題 9. 社会保障の役割		
	11	第4章 現代の国際経済	1. 貿易と国際収支	<ul style="list-style-type: none"> <li>貿易の意義や国際収支、為替相場の仕組みといった国際経済の基本的な事項を理解させる。</li> <li>戦後の国際経済の流れを踏まえ、地域統合や経済摩擦、南北問題など国際経済を取り巻く課題を理解させる。</li> <li>EUやWTOの動向、国際通貨危機など国際経済のダイナミックな動きを取り入れる。</li> <li>地理・歴史科の学習と関連させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への参加の様子</li> <li>授業プリント</li> <li>学年末考査</li> </ul>
	12		2. 外国為替市場のしくみ 3. 第二次世界大戦後の国際経済 4. 国際経済の動向(1) 5. 国際経済の動向(2) 6. 発展途上国の諸問題 7. 経済協力と日本の役割  期末考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第3編 現代社会の諸課題	① 雇用と労働をめぐる問題 ② 少子高齢社会と社会保障	・ 政治や経済に関する基本的な理解を踏まえ、現代の政治や経済の諸課題を主体的に追究する態度を養わせる。	・ 授業への参加の様子 ・ 授業プリント ・ 学年末考査
			学年末考査		

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内容に関心を寄せているか。</li> <li>・ 資本主義経済の仕組みを理解しようとしているか。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の内容を理解し、知識として身につけることができたか。</li> <li>・ 単なる一般的知識習得に終わらず、自分のための知識として役立て、大人としての自己確立、人格形成へとつなげられるか。</li> </ul>
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短絡的に考えず、思慮深く判断するようにしているか。</li> <li>・ テーマについて幅広い視点からとらえようとしているか。</li> <li>・ 論理的に自分の考えをまとめられるか。</li> </ul>

### 4 評価の方法

<p>定期考査および、小テスト、レポート、課題プリント、ノート、授業への参加態度（発問への解答）などを総合して評価します。</p> <p>1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。</p>
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>必修科目である「現代社会」で政治分野を中心に学習する関係から、「政治・経済」では経済分野を発展的に学習します。「経済」の学習というと難しいという印象を持つ人がいるかもしれませんが、私たちの日々の暮らしそのものが「経済」です。お休みに購買でパンを買うことも一つの経済活動で、一人一人のちょっとした行動の積み重ねが日本全体や世界の経済を動かしていきます。「政治・経済」の学習を通じて、経済の基礎知識を身につけ、社会人として経済社会を生き抜く力を養ってください。</p> <p>政治経済は自分たちの暮らしと社会の動きの根本を知り、かつ考えることです。言葉を覚えるだけでなく、関心・疑問を是非もってください。</p>
---